

『神』に通じる祈り。これこそが『神通力』^{じんつうりき}なのです。 病気以外の例

- 例文では実際に会員が2層目の霊団へ向けて作成したお詫びの文章を取り上げています。
- 5 同じ場所でも、個人差により細かい部分の表現方法が異なります。
くどい言い回しは避けて、自分に合った表現で、相手の苦しみを理解できる文章になるように心掛けましょう。

10

例1) 身体の不自由についてのお詫び

① 『光の主神様』に対するお詫びと祈り

- 15 『大宇宙の総ての総ての創造主 大元の光の主神様』

私は長い間右腕が自由に使えず苦しんでいます。私は肉体を持っていますので前世のことを思い出すことが出来ませんが、前世はきっと多くの方々を酷い目に遭わせてきたのでしょうね。申し訳ございません。どうかその罪をお許し下さい。

- 20 残る人生を、この肉体を大切に使用させて頂きまして、『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために、『光の主神様』の手足として、沢山にお使い賜れますよう謹みてお願い申し上げます。

② 憑霊に対するお詫び

- 25 私に憑いていらっしゃる皆様方、私は肉体が有るので前世のことは思い出すことは出来ませんが、皆様方が長年にわたり私を苦しめていらっしゃるの、きっと私が前世で皆様方を酷い目に遭わせてきたからでしょうね。

誠に申し訳ございません。どうぞお許し下さい。

- 30 皆様方が一日も早く一刻も早く『光の主神様』にお許し戴けて、天国で『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために、『光の主神様』の手足として沢山にお使い賜れる幸せな魂霊として昇華^{しょうげ}のお許しを戴けますよう謹みてお祈り申し上げます。

③ 『光の主神様』に対して憑霊の救われを祈る

- 35 『大宇宙の総ての総ての創造主 大元の光の主神様』

どうぞ私に憑いていらっしゃる皆様の罪穢をお許し下さい。そして、尊いみ光と改めて幽界での修行の場をお与え下さい。そして一日も早く一刻も早く天国で『真理＝神理』を世界に遍く弘めさせて戴くために、『光の主神様』の手足として沢山にお使い賜れる幸せな魂霊として、昇華^{しょうげ}のお許しを賜れますよう、謹みてお願い申し上げます。

40